

事業所における自己評価結果(公表)



事業所による自己評価の令和6年度の結果を公表します。
自己評価表結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めていきます。
これからも運動&学習 あなたが宝モノ貝塚王子教室をどうぞよろしく願っています。

公表:令和 7年 4月 1日

事業所名 運動&学習療育 あなたが宝モノ貝塚王子教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	保育場と療育場を分けることで個別の時間の捻出をしています。療育をしていない時間は、療育場を開放することで大きく体を動かしての遊びもできるようにしています。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%		法令を遵守しております。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	療育室内はバリアフリー化に配慮しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃を徹底しております。また、感染症対策については、消毒・検温・換気・スタッフのマスクの着用を徹底し、安心してご利用いただけるよう運営しております。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	落ち着かない時には静養室で過ごす等、少しでも安心して過ごせるようにしております。また、静養のための簡易ベッドも随時使用し過ごしやすい事業所なるよう努めております。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%		主に個別支援計画の作成に当たり、PDCAサイクルに則って職員が参画しております。また朝礼時に打ち合わせを行い、その日の目標や取り組み内容の共有・日々の振り返りも行ってあります。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後も定期的にアンケート調査を実施し、より良い評価をいただけるよう、業務改善に繋げていこう努めます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼時や振り返りの際に意見交換を行うことで、職員の意見を把握し業務改善に努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	88%	13%		常時コンサルティング会社や顧問弁護士、他第三者の方に評価とアドバイスを頂き、改善に努めています。また、パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月、職員の療育への意識向上・一貫性のある療育提供に向け、日課プログラムの研修・模擬授業を行っております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	HPで公開しております。	HPに公表しております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	日々、聞き取りや情報共有、定期的なアセスメントに基づいて、ニーズや困り感を客観的に分析して、放課後等デイサービス支援計画を立案し、療育に繋がっています。	日々、聞き取りや情報共有、定期的なアセスメントに基づいて、ニーズや困り感を客観的に分析して、児童発達支援計画を立案し、療育に繋がっています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	計画作成時の担当者会議だけでなく、日々の振り返りや共有を通して子どもへの支援に客観的に関わる職員が子どもの最善の利益を考慮した検討に努めております。	計画作成時の担当者会議だけでなく、日々の振り返りや共有を通して子どもの支援に関わる職員が子どもの最善の利益を考慮した検討に努めております。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	児童発達支援計画に沿って、個々の課題にとって必要だと考えられる支援を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	13%		事業所で使用しているプログラムの共有欄や振り返りシートを用いて現状把握に努めております。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	法令を遵守し、保護者様からのアセスメントをもとに目標を設定させていただいております。それぞれのご利用者様の支援に必要な項目を適切に選択したうえで具体的な支援内容を設定しております。不明点や変更のご要望がありましたら修正・対応いたします。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%		ご利用者様の支援計画に基づき、全スタッフで現状を共有したうえで、日々の活動プログラムを立案しています。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	月ごとのテーマを設定した年間スケジュールに沿って、プログラムを実施しています。またスタッフ間での情報共有をしながら、療育内容に細やかな変化を加えています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	平日と土曜日ではコース設定が異なる為、それぞれのコースに合わせて時間割・課題を設定しています。長期休暇期間は、それぞれのコースに合わせて、時間割を設定しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	日々の活動プログラム・内容に応じて、担当を配置し、支援内容を確認し合います。支援計画に沿ってその日の目標の設定も行っております。	
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	日々、その日の利用者様の状況、保護者様からの情報、振り返りや気づきを共有し、次回へ引き継がれる療育内容を認識し合っています。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	その日の担当者、療育内容や気づき、次回への引継ぎ等、日報に記録することを徹底し、より良い療育の提供に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	児童発達支援計画に基づき、定期的にモニタリングを実施し、ニーズ・課題の見直しの必要性を日々の日報を通して判断しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、児童発達管理責任者もしくは日々の療育を主に担当するものが参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	ご利用者様の通われている機関との共有も行ってあります。保護者様のご希望があれば、見学を相互で行う事もしております。	保護者様を通じて、関係機関からの情報を共有していただき、療育内容に反映しております。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	年長児のご利用者様など園の先生との情報共有を行い、小学校へ向けた相互理解に努めております。	保護者様や相談支援事業所の担当者様を通じて、情報共有をさせていただいております。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	57%	43%		保護者様や相談支援事業所の担当者様を通じて、情報共有をさせていただいております。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	32	(31は、事業所のみ回答)				
			地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	保護者様のご希望があり、助言していただくこともあります。
		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けてまいります。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎の際や、日々の連絡帳でのやり取り、電話・LINEなど、日ごろから個々の状況・状態を共有し合い、ご利用者様の発達課題について、共通理解をもつようしております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71%	29%		相談希望の保護者様には積極的に支援を行っております。オンラインでの講演会なども実施し、ペアレント・トレーニングに繋がっていきます。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約前の療育説明会では、支援内容のご説明と日々のお子様の様子をヒアリングさせていただき、ご納得いただいた上、体験に進んでいただいております。ご契約時には、運営規定、支援内容、利用者負担等を丁寧に説明しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援計画作成前には必ずアセスメントを行い、お子さまの現在の状況、お子さまや保護者様のご意向を必ずお聞きしております。ガイドラインのねらい及び支援内容と、それに基づいて作成した児童発達支援計画を提示し、保護者様に支援内容の説明を行い、同意を得ております。	
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	保護者様に児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様に同意を得ております。質問や変更のご希望がある場合は修正するようしております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者様から相談があった際には、随時、対応させていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%		保護者様参加イベントの実施回数を少しずつ増やすことで、保護者様同士が関わりを持つ機会を確保してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	13%	相談苦情窓口を設け、周知しております。相談や申し入れがありましたら、迅速かつ適切に対応しております。	相談苦情窓口を設け、周知しております。相談や申し入れがありましたら、迅速かつ適切に対応しております。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	チラシや通信を毎月制作して周知・教室の入口へ掲示しております。	毎月、教室からの通信を発行しております。合わせて、LINE・HP・ブログ・Facebook・Instagram等、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をご利用者様や保護者様に対して発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	法令を遵守しております。個人情報には鍵付き書庫に保管し、資料・書面はシュレッダーにて破棄しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	ご利用者様には障害特性を加味し、意思の疎通に配慮しております。保護者様に対しても、電話やLINEや連絡帳など複数の方法で対応できるよう、配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%		今後、地域に開かれた事業運営を目指していきます。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。

	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員、保護者様に周知しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	非常災害の発生に備え、毎月避難・救出・その他必要な訓練を行っております。	
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	ご契約時にご記入いただいている事前調査票と面談をもとに、服薬や予防接種、てんかん発作の有無等を把握しております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	ご契約時にご記入いただいている事前調査票と面談をもとに、アレルギーの有無を把握し、食物アレルギーのあるご利用者様については、家庭や医師と連携し、対応しております。パートスタッフ・送迎スタッフまで情報共有ができるよう今後は努めてまいります。	ご契約時にご記入いただいている事前調査票と面談をもとに、アレルギーの有無を把握し、食物アレルギーのあるお子様については、家庭や医師と連携し、対応しております。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し、スタッフ間で共有、改善を行えるよう徹底しており、安全管理が十分された環境で支援が行えるようになっております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努め、学びとしております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、委員会で話し合われたことは全スタッフに周知しております。また虐待を防止するため、研修に参加したり、研修での学びを共有し、適切な対応をしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	88%	13%	現状、該当するご利用者様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様・保護者様に事前に十分に説明し、了承を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載する仕組みはできています。	現状、該当するご利用者様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ご利用者様・保護者様に事前に十分に説明し、了承を得たうえで、児童発達支援計画に記載する仕組みはできています。パートスタッフや送迎スタッフまで理解が及ぶよう教室内で共有の機会を作っております。